第 18 回滋賀県がん診療連携協議会　地域連携部会　議事概要

日　時：平成 26 年（2014 年）10 月 17 日（金）　14:30～16:00
場　所：大津赤十字病院　小講堂
出席者：大野　辰治（大津赤十字病院）、目片　英治（滋賀医科大学医学部附属病院）
三上　貴子（代：土田）（滋賀医科大学医学部附属病院）
德谷　理恵（大津赤十字病院）、山本　秀和（滋賀県立成人病センター）
本庄　鏡子（滋賀県立成人病センター）、金　哲將（公立甲賀病院）
林　栄一（彦根市立病院）、加納　正人（大津市民病院）
瀬戸山　博（東近江総合医療センター）、越智　眞一（滋賀県医師会）
森田　潤（滋賀県歯科医師会）、寺尾　敦史（滋賀県保健所長会）
池田　富美子（滋賀県薬剤師会）、石黒　幸枝（滋賀県歯科衛生士会）
奥井　貴子（滋賀県健康医療福祉部）、嶋田　宏之（滋賀県成人病センター）
水野　敏子（大津赤十字病院）、加藤　理史（大津赤十字病院）
欠席者：神田　雅史（市立長浜病院）、水本　明良（草津総合病院）
増山　守（済生会滋賀県病院）、土屋　邦之（近江八幡総合医療センター）
下松谷　匠（長浜赤十字病院）、伊藤　美千代（滋賀県看護協会）
須藤　恵子（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

（敬称略）

1. 滋賀県地域連携クリニカルパスについて

◎登録状況について

平成 26 年 9 月 30 日現在の登録状況について、事務局より報告した。【別紙資料参照】

全体の運用件数は 828 件であった。がん診療連携拠点病院では、大津赤十字病院が 98 件、滋賀県立成人病センターが 118 件、市立長浜病院が 132 件、彦根市立病院が 52 件、公立甲賀病院が 12 件、滋賀医科大学附属病院が 116 件であった。がん診療連携支援病院では、大津市民病院が 43 件、草津総合病院が 5 件、済生会滋賀県病院が 27 件、長浜赤十字病院が 157 件、近江八幡総合医療センターが 56 件、東近江総合医療センターが 12 件であった。

また、部位別では、胃がんが 326 件（早期 290 件・進行期 36 件）、大腸がんが 411 件（早期 340 件、進行期 71 件）、肺がんが 15 件（化学療法有 6 件・化学療法無 9 件）、肝がんが 4 件（内科 4 件・外科 0 件）、乳腺がんが 33 件、前立腺がんが 28 件、緩和ケアが 11 件（連携有 11 件・連携無 3 件）の運用であった。

今回より、登録状況一覧表の「緩和」欄に“連携有”、“連携無”の区分を設けた。緩和ケアパスは、連携先医療機関が決定していなくても「私のカルテ」を患者さん自身に使用してもらうケースが発生するため、その件数をカウントする欄を“連携無”とし、合計件数には含まないこととした。

2．PDCA サイクルについて

◎「滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート」中間評価について【別紙参照】

当部会の平成 26 年度目標として、『地域連携パスの活用　260 件／年』を設定している。今年度上半期を終え、地域連携パスの登録数は 131 件であった。下半期も同様の登録件数があると目標件数 260 件に達する見込みである。しかし、『地域連携パスの見直し』、『パス運用の質・運用率調査』といった他の目標に対する取り組みが行われていないため、中間評価を“B”評価とした。

◎地域連携部会における数値化できる指標について

前回部会にて審議した「滋賀県がん診療連携協議会　各部会における数値化できる指標」について、当部会の指標としては、事務局より、2012 年のがん登録データを用いて“胃がん”、“大腸がん”の Stage Ⅰ・Ⅱ症例における地域連携パス適用率をがん診療連携拠点病院別に算出した。【別紙資料参照】

がん診療連携拠点病院（6 施設）の胃がん（早期）パス適用率平均は 15.0%、大腸がんのパス適用率平均は 23.7%となった。それぞれの適用率平均を各施設の目標値とする案を提示したが、それでは平均以上の施設に対しての目標値にならないといった指摘もあり、また、現在公開されているがん登録データが 2012 年データであるため、現状に見合わないのではないかという懸念もある。がん登録数に経年的な差異がないのであれば、2012 年のがん登録データを使用し、パス登録件数は直近のデータを使用して適用率を算出する方法の提案もあった。当部会の「数値化できる指標」としては、『“胃がん”、“大腸がん”の Stage Ⅰ・Ⅱ症例における地域連携パス適用率』を指標とし、当面は具体的数値目標を掲げず、先ずは目標値として適正なパス適用率を設定することを検討していく。

3．地域連携パス研修会について【別紙広報誌】

平成 26 年 11 月 24 日（月・祝）に、滋賀県立男女共同参画センター G－NET しが（近江八幡市）にて、第 12 回滋賀県がん地域連携パス研修会『緩和ケアと私のカルテ』を開催予定である。研修会内容は、緩和ケア地域連携パスの紹介と運用について、ロールプレーなどを行う。また、同日同会場にて、平成 26 年度第 1 回東近江医療圏がん診療市民公開講座『がん治療と緩和ケア』も開催され、パス研修会は、当該市民公開講座に引き続き行われる予定である。

4．その他

◎県より報告

「がん対策推進基金」を活用する事業について、平成 27 年度事業に向け関係機関に意見を求めた結果 120 件の提案があり、それらを“民間主体”、“県主体”に分類し、がん対策推進基金活用事業として、選定を行っていくとの報告があった。

以上